

2014年4月22日

報道関係各位

アストラゼネカ、2014年度 R&D グラント募集開始 日本の研究者の革新的なアイデアに期待

アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：ガブリエル・ベルチ）は、15年目となる年次研究助成プログラム「アストラゼネカ・R&D・グラント」の2014年度の募集を本日開始しました。本年は、がん、代謝疾患、臨床薬理学、統計学および製剤技術の5分野で研究提案を募集し、1件200万円の助成金を最大10件の研究課題に提供する予定で、申請書提出期限は6月2日（月）です。応募案件はアストラゼネカのグローバル創薬部門のメンバーで構成される選考委員会により選考され、助成対象者が決定されます。選考結果の発表は9月20日頃を予定しています。募集要項を含む本件に関する詳細は当社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.astrazeneca.co.jp/vri/grant>

2000年に開始された本研究助成プログラムは、日本国内の優秀な研究者および革新的なアイデアへのアストラゼネカのアクセスを強化するとともに、優れた新薬の早期開発に資する有望な研究者との強力なパートナーシップの構築を目的に策定されました。すなわち、アストラゼネカのR&D戦略と合致した研究分野に興味を持つ日本の研究者の方々との共同研究を通じて、新薬開発の推進や、既存品の可能性の拡大を目指しています。

昨年までの14年間の助成総数は272件、応募総数は3,990件に上ります。また、本プログラムを契機に共同研究プロジェクトが発足しており、現在、オンコロジー、循環器、糖尿病、ニューロサイエンス、呼吸器炎症、感染症等の治療領域で10件以上の日本の大学・研究機関との共同研究が進行中です。松尾恭司研究開発本部長は次のようにコメントしています：「アストラゼネカ・R&D・グラントでは日本で進められている先進的な研究で活躍されている研究者の方々とのパートナーシップによって、当社のパイプラインの価値最大化を目指します。これを実現することにより、世界および日本で革新的な新薬を適切な患者さんにより早く届けることができることを願っています。」

以上

アストラゼネカ株式会社について

アストラゼネカは、イノベーション志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細はこちらをご覧ください。<http://www.astrazeneca.com>

日本においては、主のがん、循環器、消化器、呼吸器、糖尿病、ニューロサイエンスを重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。当社についてはこちらをご覧ください。<http://www.astrazeneca.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB
広報・渉外部 村本
Tel: 06-7711-3098 / 090-5015-3616
Email: Fumiko.Muramoto@astrazeneca.com